

6. その他教員養成の質の向上に係る取り組み

広島文化学園大学

教職指導の状況に関しては、各学部でのオリエンテーション時に説明されている。各学部とも履修に関するガイダンスは、各学部の履修の手引きに謳われている。

(1) 看護学部

教職課程に係るコースは、養護教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状(看護)取得のための2コースである。看護師免許の取得を基本としながら、養護および看護の教員としての教育実践を目指す学生のニーズに応えることができるようきめ細かな学修支援を行っている。「履修の手引き」に基づき、コース選択の指導を行うが、教職科目開設は1年次から実施されているため、新入生オリエンテーションのときから希望学生に履修指導を行っている。各学年に応じて教育実習・模擬授業・教員採用試験対策講座等を実施し、教員としての資質向上を含めた指導を実施している。

(2) 学芸学部

教職課程の履修については、学部の発行する『履修の手引き』に基づいて詳細に説明するなど履修指導の徹底を図るとともに、必修科目の単位を確実に取得できるよう学科をあげて指導・支援に取り組んでいる。また、教職支援室と各学科担当教員が連携をとりながら、教職を希望する学生に対してきめ細かな相談・情報提供及び教員採用試験対策講座の計画と実施を行い、「先生になる」夢の実現への支援を行っている。

(3) 人間健康学部

教職支援室が中心となって、教職を目指す学生を対象に入学後から4年後を見据え、系統的・計画的な教採対策講座を実施している。これらの取り組みは、教員養成を担当する教員はもちろん、広島県で長年にわたり教職歴を有する職員や、外部の専門家とも連携して実施され、教師として求められる基本的な素養と資質能力について徹底指導を行っている。

広島文化学園短期大学

(1) 課程の履修を通して、学生が教職への理解を深め、教職に就くための信念を持つこと、さらに専門的な知識・技能を幅広く修得し、教員として必要な資質能力を身につけることができるよう、全学的に教育内容や指導の充実を図っている。

(2) 学生自身による教職課程における履修カルテを用いた自己点検・評価を定期的に行う

ている。

- (3) 学内では教職課程運営委員会及び教育課程委員会で、関連事項についての協議や連絡調整を行っている。
- (4) 学生による授業評価アンケートおよび授業担当者意見交換会を実施し、授業の改善、質の向上に努めている。
- (5) 教育実習に関連する連絡協議会においては、学科の担当教員が出席し、教育実習の調整や教職課程に関する教育内容や指導についての情報交換を行い、教育活動に役立っている。また教育委員会や実習校との連携を図り、指導の充実に努めている。